

働き方改革を
推進!

残業時間の削減と業務の効率化で、ワーク・ライフ・バランスが保たれた柔軟で健康な職場を目指す

株式会社吉田自動車は、昭和24年に所沢市に創業した老舗の自動車整備、販売会社です。現社長の吉田慶氏は、4代目として3年前に社長に就任しました。

自動車整備、販売業界は他業界と比較すると長時間労働が常態化し、残業時間が多いと言われています。吉田慶氏が社長に就任した時も、夜遅くまで仕事をする従業員が多く、そのために退職する従業員がいました。また、新卒も中途も採用ができず、人手不足に陥っていました。

そこで、吉田社長は、「全従業員の物心両面の幸せを追求する。そんな会社を目指し、倦まず弛まず努力を続けていきます」と宣言し、改革に乗り出しました。

残業時間削減キャンペーンを社員一丸となって実施

「長年従業員は残業や長時間労働が当たり前と思っていたので、その意識を変えるのが一番大変だった。」と吉田社長は言います。その意識革命のために2つのことを始めました。1つ目が残業時間削減キャンペーンです。まず、なぜ残業を減らさなくてはならない

のか、なぜこのキャンペーンをやるのかを説明し、会社のためではなく、従業員の未来のために必要であるということを理解してもらいました。そして、7月から9月までの3か月間の昨年同時期の残業時間のリストを作成し、今年の残業時間を入力し、残業時間の意識付けを行いました。

また、残業代が減ることを心配しなくて済むように昨年の残業代相当を特別手当として支給し、その上で、いかに残業時間を削減し定時に帰ることができるかを検討してもらいました。それまで定時に帰ることができない従業員が一度定時に帰ることができると、従業員の中に意識改革が起き、定時に仕事を終わらせたいと思い始めたのです。

ワーク・ライフ・バランス実現のための従業員の勉強会を実施

次に、月一回会社の定休日を設定し、社内勉強会に全従業員が出席できるようにしました。そこではワーク・ライフ・バランスの大切さを吉田社長が従業員に根気強く訴えました。なぜワー



小さな子供も飽きさせない
キッズルームも設置している

ク・ライフ・バランスの実現が大切なのか、それが従業員の将来にどのように影響するのかを訴え、さらに、会社の売上げや利益などの経営状況や将来の計画を伝えることにより全従業員の方向性を揃えていきました。

また、タイヤメーカーやオイルメーカーなど外部の講師に、知識の取得だけでなく、生産性向上につながる講義を依頼しました。さらに、吉田社長自ら将来を見据えて事業継続計画を作る重要性や、マタニティジャケットを着る体験を全従業員にさせて、誰もが快適に働ける環境の重要性を訴えました。

委員会や吉田食堂など、従業員の自主性を向上させる取組にも着手

従業員の自主性を向上させるために、委員会や吉田食堂プロジェクトを立ち上げ、運営を任せる仕組みを作りました。委員会は、レクリエーション、美化、コスト削減があり、各委員会のリーダーには予算が与えられ、その中でメンバーを引っ張り、結果を出すことを求められます。吉田食堂プロジェクトは、社内勉強会の日に全社員で自炊をして、コミュニケーションを取る機会にするとともに、楽しんで食事をするというイベントです。また、必ず1品健康メニューを入れることにより従業員の健康に対する意識を向上させることを求められています。

吉田社長は、これらの取組により従業員に楽しみながら成長する機会を持ってもらいたいと言っており、従業員の中に業務効率化の工夫を自発的に行う者が増えてきたと取組に手応えを感じています。

事業概要：自動車整備、販売業

生産性の向上は細かい業務効率化の蓄積の賜物

その他にも、多くの業務効率化のための工夫が実行されています。例えば、業務の棚卸しを行い、不要な業務を廃止、似たような業務は一緒にして無駄な業務を削減しました。また、全整備士にスポットクーラーを支給し、暑さ対策とともに作業の効率化も実現しました。さらに、頻繁に注文するものに関しては、裏に品番の書かれた磁石を作ってホワイトボードに貼り、在庫が少なくなったら磁石を裏返してその都度カタログを開かずすぐに発注ができるようにしました。

利益率向上と新卒採用が実現

吉田社長はこれらの取組により、2つのプラス効果が出てきたと喜んでいますが、1つ目は、これらの業務効率化、生産性向上の取組により3年前よりも経常利益率が7.5%と6.3倍にアップしたことです。その増加した利益は、従業員の昇給や、更なる生産性向上のための設備投資に使っています。2つ目は、このような取組が、地元の学校や住民に認められ、昨年より新卒の採用ができるようになったことです。

このように働き方改革に成功してきた吉田自動車ですが、吉田社長は、来年以降も更に従業員が働きやすい労働環境を目指して、勤務間インターバルや男性の育休取得の実現にチャレンジしていきたいと語ってくれました。



お客様と従業員の両方の満足を目指す
4代目社長、吉田慶氏